

平成30年度工場見学会

(株)大和バルブ東北営業所
宮崎 貴士



平成30年10月30日(水) 仙台駅東口バスプールより、今年度の会員工場見学会が始まりました。7時40分に総勢45名 貸切りバスにて目的地へ、今回知見を広める場所として選ばれたのが、岩手県矢巾町に現在建設中の岩手医科大学矢巾新付属病院新築現場と北上市にある(株)岩手ヤクルト工場です。

道中はあいにくの雨模様でしたが、到着したときには雨も止み絶好の見学日和となりました。

岩手医科大学は現在、盛岡市内中心部に立地されておりますが、長年の老朽化と最先端の医療・教育・診療を行うには現所在地では拡張が困難な為、移転となったようです。

現場事務所に到着すると、機械設備工事を担当されている(株)朝日工業社の菅原所長様から工事の概要や現場見学注意事項の説明を受けた後に現場へ向かいました。

延べ面積87,399.44㎡、地上11階(ベッド数1,000)の建屋はとて大きく近くから見るとスケールの大きさがより一層実感できました。今回は6階の病棟と4階の手術室を見学させて頂くことになり6階まで階段で登るのは少々苦しかったですが進捗率が約7割とのことで大分屋内は完成に近づいておりました。様々な設備や特殊な配管がされており一大プロジェクトなんだなと実感することができました。私事ではありますが弊社のバルブも配管されておりこのプロジェクトに関われたことを誇りに思いました。本来であればエネルギー棟も見学予定のところ、諸事情により見学ができず残念でしたが貴重な体験をさせて頂き感謝一杯の想いでした。





昼食はわんこそばで有名なやぶ屋花巻総本店で特別メニューのざるそばとお刺身やてんぷら付きの和食お膳を堪能いたしました。

満腹な気分のまま次の目的地である(株)岩手ヤクルト工場へ。

到着すると担当のガイドさんから早速出来たてのヤクルト 400 を頂きました。このヤクルト 400 は非売品で宅配専用商品だったことを初めて知りました。ここ岩手工場では1日に220万本の生産をしており福島工場から毎日原料が届けられた後に製品化しているようです。ヤクルトは医学博士の代田稔氏が乳酸菌の一種であるシロタ株の強化・培養に成功したことから始まり、製造・販売して約80年、今では全世界で認知されているようです。世界各地のCMも放映されておりました。

生産工程を見学させて頂いた中で一番驚いたのは、異物が入っていないか、容器が変形していないか等を数台のカメラでチェックするラインがあったことです。機械が判別している為、高速で動いていたことが圧巻でした。更に1日の生産が終わると毎日手作業で機械の洗浄を行っているというのも驚き、良い製品を届けるには拘らないといけないことを改めて肌で感じました。最後にお土産を頂き工場を後にしました。

帰りの道中で前沢SAに寄り、ここではお土産を多く購入し荷物を増やしバスへ。やはり私と同じく荷物を増やした方が多かったと思います。車内ではジャンケン大会が行われ、前沢牛A5相当のお肉やハンバーグを賭け45名による戦いが繰り広げられ何と私が優勝致しました。誇らしげに家族へ手渡し知見と雑学を深める見学会となりました。

最後に企画して頂いた委員会の皆様へ感謝申し上げます。